

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2016年 第9週 （2月29日～3月6日）

## ★お知らせ

### ○インフルエンザに気を付けて！

定点医療機関からの報告数は、第8週の46.81から第9週では49.42とほぼ横ばいですが、3週連続高知県全域で警報値である30.0を超えました。中央西、幡多、中央東、安芸で増加し、県全域及び中央西、幡多、高知市、中央東、須崎では警報値を超え、安芸では注意報値を超えています。迅速検査ではインフルエンザA型44%、B型56%となっており、B型の割合が増加しています。

### インフルエンザ警報継続中！

高知県の過去2年間の同時期と比較しても高い値が続いています。引き続き、手洗い、咳エチケットを心がけて下さい。アルコールを含んだ消毒液で手を消毒するのも効果的です。

普段からの健康管理も重要です。栄養と睡眠を十分に取り、抵抗力を高めておくこともインフルエンザの発症を防ぐ効果があります。

学校等における集団発生		※感染症情報収集システム					
保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多
休校	第9週						1
	累計			2	1		1
学年閉鎖	第9週	2		2	3	2	4
	累計	2	1	3	6	12	9
学級閉鎖	第9週			12		1	2
	累計		3	41	2	2	3

病原体検出情報ではInfluenza virus A H1pdm09 3例、Influenza virus B 1例が検出されています。

※厚生労働省インフルエンザ 総合対策（外部サイトへリンク）

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleenza/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleenza/index.html)

### ○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第8週の5.57から第9週では6.00とほぼ横ばいですが、中央東、須崎、高知市、幡多で増加しています。定点医療機関からのホット情報では、ノロウイルスが2例、ロタウイルスが21例報告され、また基幹定点からの感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）が13例報告されています。例年、3月から5月頃にかけて乳幼児を中心にロタウイルスによる胃腸炎の流行が認められるようになります。ロタウイルスは、乳幼児の急性重症胃腸炎の主な原因ウイルスとして知られています。ロタウイルスに感染すると、2～4日の潜伏期間（感染から発病までの期間）の後、水のような下痢や嘔吐（おうと）が繰り返し起こります。その後、重い脱水症状が数日間続くことがあります。発熱や腹部の不快感などもよくみられます。

排便後、調理や食事の前には石けんと流水で十分に手を洗いましょう。また、衣類（おむつ等）が便や吐物で汚れたときは、次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤）で浸けおき消毒した後、他の衣類と分けて洗濯しましょう。

●高知県ノロウイルス対策マニュアル

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

●厚生労働省ノロウイルスに関するQ&A

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/0402/04-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/0402/04-1.html)

### ○百日咳に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第8週の0.13から第9週では0.07となっていますが、高知市では注意報値を超えています。

7～10日程度の潜伏期間を経て、風邪症状がみられ、徐々に咳が強くなっていきます(カタル期:約2週間)。その後、短い咳が連続的に起こり、咳の最後に大きく息を吸い込み、痰を出しておさまるという症状を繰り返します(痙咳期:約2～3週間)。激しい咳は徐々におさまりますが、時折、発作性の咳がみられます(回復期:2～3週間)。乳児の場合、無呼吸発作など重篤になることがあり、生後6か月未満では死に至る危険の高い疾患です。

感染力が強いため注意してください。飛まつ感染予防に、手洗い、うがい、咳エチケットを心がけましょう。また、感染予防のためにワクチン接種をお勧めします。

ワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

病原体定点から *Bordetella pertussis* が3例検出され、2016年1月以降合計10例検出されています。

### ○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第8週の2.97から第9週では2.87とほぼ横ばいですが、高知市で増加し、高知市では注意報値を超えています。高知県では過去2年間の同時期と比較して高い値が続いており、引き続き注意が必要です。

この病気は、乳幼児では咽頭炎、年長児や成人では扁桃炎が現れ、発赤毒素に免疫のない人は猩紅熱といわれる全身症状が見られます。気管支炎を起こすことも多いです。予防には、手洗い、うがいやマスクの着用等が有効です。

### ○伝染性紅斑（リンゴ病）に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第8週の0.27から第9週でも0.20と減少しています。安芸で増加し、安芸では注意報値を超えています。

10～20日の潜伏期間の後、両頬に境界鮮明な紅い発しんが現れます。続いて体や手・足に網目状の発しんが広がりますが、これらの発しんは、通常1週間程度で消失します。多くの場合、頬に発しんが出現する7～10日前に、微熱や風邪のような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。発しんが現れる時期にはウイルスの排出量は低下し、感染力もほぼ消失します。

妊娠中（特に妊娠初期）に感染した場合、まれに胎児の異常（胎児水腫）や流産が生じることがあるので注意が必要です。

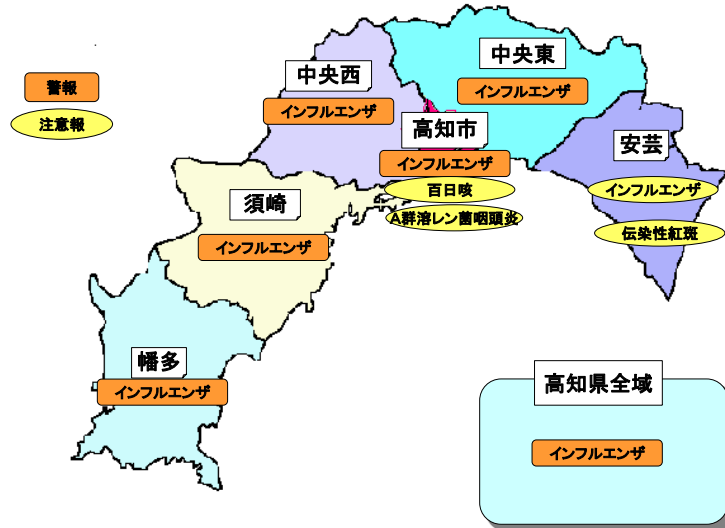
予防接種はありません。予防には、手洗い、咳エチケットが有効です。

### ★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）  
 9週（2月29日～3月6日）  
 ↑ : 急増    ↗ : 増加    → : 横ばい    ↘ : 減少    ↓ : 急減

疾病名	推移	定点当たり 報告数	県内の傾向
インフルエンザ	→	49.42	中央西、幡多、中央東、安芸で増加し、県全域及び中央西、幡多、高知市、中央東、須崎では警報値を超え、安芸では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	→	6.00	中央東、須崎、高知市、幡多で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	2.87	高知市で増加し、高知市では注意報値を超えています。
RSウイルス感染症	↘	1.20	幡多で増加しています。
流行性耳下腺炎	→	0.53	須崎、高知市、中央東で増加しています。

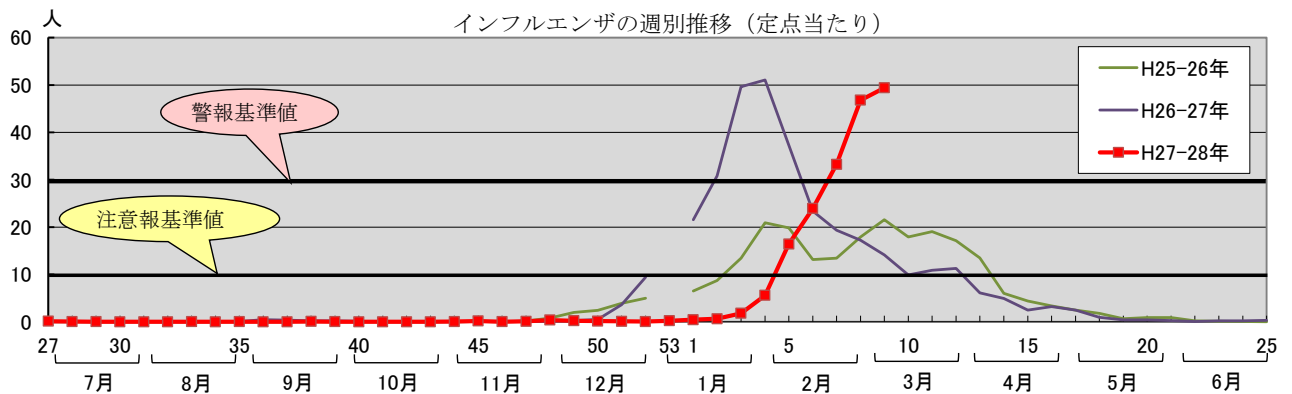
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

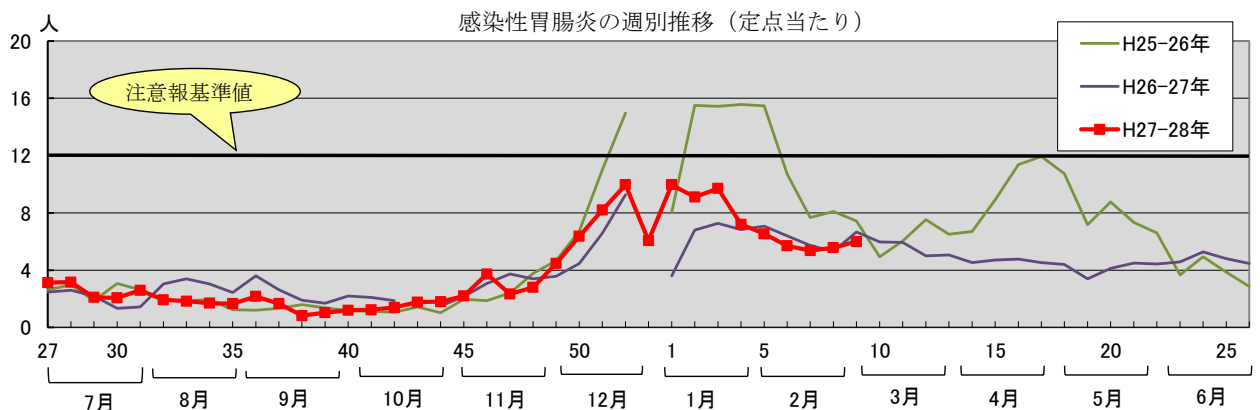
○インフルエンザ 第9週：49.42（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり49.42（前週46.81）とほぼ横ばいです。地域別にみると、中央西56.80（前週45.40）、幡多55.38（前週42.63）、中央東48.45（前週46.64）、安芸22.75（前週9.00）で増加しています。また、県全域及び中央西、幡多、高知市、中央東、須崎では警報値を超え、安芸では注意報値を超えています。



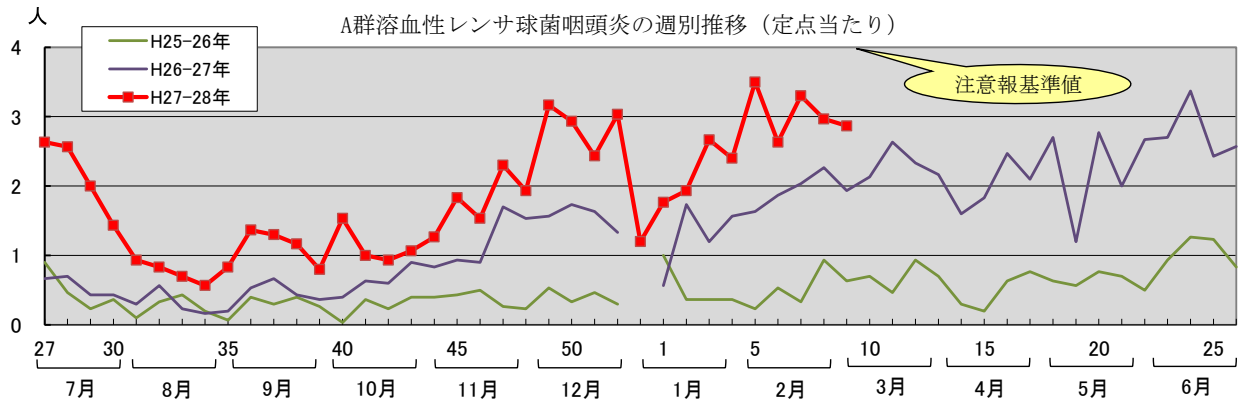
○感染性胃腸炎 第9週：6.00（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり6.00（前週：5.57）とほぼ横ばいです。地域別にみると、中央東8.43（前週7.00）、須崎7.50（前週5.00）、高知市5.91（前週5.73）、幡多5.00（前週4.40）、で増加しています。



○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 第9週：2.87 （注意報値：4.00 警報値：8.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.87（前週 2.97）とほぼ横ばいです。地域別にみると、高知市 4.45（3.91）で増加し、高知市では注意報値を超えています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、今週よりグラフ横軸に第53週を挿入しています。そのため、H25-H26年とH26-H27年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
9	インフルエンザ	9	女	高知市	Influenza virus A H1pdm09
9	インフルエンザ	25	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
9	インフルエンザ	65	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
9	インフルエンザ	9	女	中央東	Influenza virus B/Yamagata
9	百日咳	0	男	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>
9	百日咳	14	女	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>
9	百日咳 疑い	33	女	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
7	-	7	女	高知市	Human herpes virus 6
7	突発性発疹	10ヶ月	女	高知市	Human herpes virus 6
7	-	7	女	高知市	Human herpes virus 7
7	感染性胃腸炎	9ヶ月	男	須崎	Norovirus GII NT

★全数把握感染症

第9週

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	17	70歳代男	高知市
		1	18	70歳代男	
		1	19	60歳代女	
		1	20	60歳代男	中央東
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	6	60歳代男	高知市
	梅毒	1	2	80歳代男	須崎

## ★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報	
安芸	田野病院小児科	ヒトメタニューモウイルス気管支肺炎1例（7ヶ月）	
中央東	あけぼのクリニック	インフルエンザ70例 A型27例 B型42例 ロタウイルス胃腸炎2例（1歳、6歳）	
	野市中央病院小児科	インフルエンザA型3例 （ワクチン接種不明1例：2歳男 ワクチン未接種2例：11ヶ月男、5歳女） インフルエンザB型13例 （ワクチン接種済み4例：12歳男女、14歳男2人） ワクチン未接種9例：11歳男女各2人、13歳男女各2人、14歳男）	
	早明浦病院小児科	インフルエンザA型21例（9ヶ月～31歳） インフルエンザB型8例（12歳～15歳） うち インフルエンザB型は肺炎合併し入院1例（14歳男） E. Coli 0-18腸炎+カンピロバクター腸炎 1例（5歳） ロタウイルス感染性腸炎1例（8歳）	
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎4例（4歳男、10歳女、11歳女、15歳女） ロタウイルス腸炎3例（3歳女、7歳女、8歳男） カンピロバクター腸炎1例（12歳女） 病原性大腸菌0-18腸炎1例（10歳男）	
	国立病院機構高知病院小児科	感染性胃腸炎の3歳女児はロタウイルス罹患	
	細木病院小児科	ロタ9例（7ヶ月男、1歳男2人、1歳女、2歳男、3歳女2人、4歳男女）	
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ、溶連菌感染症同時感染6例（4歳女、5歳女、8歳男、9歳女、11歳女、14歳女） インフルエンザA型・B型同時感染1例（3歳女） インフルエンザA型42例 インフルエンザB型35例 予防接種歴あり8例 溶連菌感染症27例	
	高知医療センター小児科	RSウイルス感染症5例（1ヶ月男女、4ヶ月女、10ヶ月男、7歳男） ノロウイルス1例（11ヶ月女） ロタウイルス1例（6歳男） 病原性大腸菌3例（0ヶ月女3人）	
	中央西	くぼたこどもクリニック	突発性発疹1例（1歳女：須崎市）
	須崎	もりはた小児科	滲出性扁桃炎（アデノ）1例（4歳男） 感染性胃腸炎15例中13例ロタ+ インフルエンザ82例 A型51例 B型31例 水痘1例（ワクチン1回スミ）
幡多	幡多けんみん病院小児科	ロタウイルス陽性4例 ノロウイルス陽性1例	
	こいけクリニック	インフルエンザA型とB型同時陽性1例あり（11歳男）	
	さたけ小児科	マイコプラズマ肺炎1例（5歳男） インフルエンザ104例 A型59例 B型45例	

### ■ジカウイルス感染症の定義と発生届について

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行令が一部改正され、平成28年2月15日からジカウイルス感染症が全数報告の対象となる四類感染症となりました。診断した医師は直ちに最寄りの保健所又は福祉保健所に届け出ることをお願いします。

#### ●厚生労働省 ジカウイルス感染症を疑う症例の要件について（平成28年2月24日）

ジカウイルス感染症の検査や診断をよりの確に実施するため、現時点でのジカウイルス感染症を疑う症例の要件

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000113709.pdf>

#### ●国立感染症研究所 ジカウイルス感染症のリスクアセスメント 2016年2月16日更新

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/>

#### ●厚生労働省検疫所 海外感染症情報

<http://www.forth.go.jp/index.html>

#### ●外務省 海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

●国立国際医療研究所センター ジカ熱/ジカウイルス感染症 2016年2月26日更新

<http://www.dcc-ncgm.info/topic/topic-%E3%82%B8%E3%82%AB%E7%86%B1/>

●ジカウイルス感染症 定義 (厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-04-44.html>

●ジカウイルス感染症 発生届様式 (PDF)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/pdf/01-04-44b.pdf>

●ジカウイルス感染症について (厚生労働省) (ジカウイルス感染症に関する Q&A、流行地域など)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

## ★全国情報

### 第7週 (2月15日～2月21日)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核317例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症9例、腸チフス1例

4類感染症：E型肝炎9例、A型肝炎9例、デング熱3例、日本紅斑熱1例、マラリア1例、レジオネラ症13例、レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢10例、ウイルス性肝炎3例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症11例、急性脳炎15例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症5例、後天性免疫不全症候群11例、ジアルジア症1例、侵襲性インフルエンザ菌感染症5例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症49例、水痘 (入院例に限る) 1例、梅毒42例、播種性クリプトコックス症2例、風しん1例

報告遅れ：デング熱1例、レジオネラ症5例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症13例、急性脳炎15例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症7例、水痘 (入院例に限る) 1例、梅毒26例、薬剤耐性アシネトバクター感染症2例

.....

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第9週 平成28年2月29日(月)～平成28年3月6日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第9週					計	前週	全国(8週)	高知県(9週末累計)		
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎				幡多	H28/1/4～H28/3/6	H28/1/4～H28/2/28
インフルエンザ	インフルエンザ		91	533	848	284	173	443	2,372 ( 49.42)	2,247 ( 46.81)	178,685 ( 36.12)	8,557 ( 178.27)	928,876 ( 187.58)
小児科	咽頭結核熱			2					2 ( 0.07)	2 ( 0.07)	1,015 ( 0.32)	22 ( 0.73)	9,930 ( 3.14)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			14	49	5	1	17	86 ( 2.87)	89 ( 2.97)	10,140 ( 3.21)	721 ( 24.03)	76,927 ( 24.36)
	感染性胃腸炎		4	59	65	12	15	25	180 ( 6.00)	167 ( 5.57)	19,909 ( 6.31)	1,954 ( 65.13)	185,159 ( 58.63)
	水痘			1		2	2		5 ( 0.17)	6 ( 0.20)	1,061 ( 0.34)	69 ( 2.30)	11,726 ( 3.71)
	手足口病								( )	1 ( 0.03)	76 ( 0.02)	7 ( 0.23)	935 ( 0.30)
	伝染性紅斑		2	1	2	1			6 ( 0.20)	8 ( 0.27)	1,449 ( 0.46)	59 ( 1.97)	16,347 ( 5.18)
	突発性発疹			2	3	2		3	10 ( 0.33)	6 ( 0.20)	1,067 ( 0.34)	81 ( 2.70)	9,749 ( 3.09)
	百日咳				2				2 ( 0.07)	4 ( 0.13)	37 ( 0.01)	16 ( 0.53)	326 ( 0.10)
	ヘルパンギーナ								( )	( )	39 ( 0.01)	2 ( 0.07)	360 ( 0.11)
	流行性耳下腺炎			1	11			3	1	16 ( 0.53)	14 ( 0.47)	2,526 ( 0.80)	164 ( 5.47)
RSウイルス感染症		1	9	17	3			6	36 ( 1.20)	47 ( 1.57)	1,032 ( 0.33)	395 ( 13.17)	15,263 ( 4.83)
眼科	急性出血性結膜炎								( )	( )	7 ( 0.01)	( )	57 ( 0.08)
	流行性角結膜炎								( )	1 ( 0.33)	389 ( 0.57)	3 ( 1.00)	3,862 ( 5.61)
基幹	細菌性髄膜炎								( )	( )	5 ( 0.01)	( )	62 ( 0.13)
	無菌性髄膜炎								( )	( )	15 ( 0.03)	2 ( 0.25)	129 ( 0.27)
	マイコプラズマ肺炎			1					1 ( 0.13)	6 ( 0.75)	228 ( 0.48)	47 ( 5.88)	2,312 ( 4.88)
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				1				1 ( 0.13)	2 ( 0.25)	12 ( 0.03)	17 ( 2.13)	78 ( 0.16)
	感染性胃腸炎			2	11				13 ( 1.63)	13 ( 1.63)	213 ( 0.45)	92 ( 11.50)	1,185 ( 2.50)
計 (小児科定点当たり人数)		98 ( 26.25)	625 ( 61.17)	1,009 ( 66.54)	309 ( 65.14)	194 ( 53.75)	495 ( 65.78)	2,730 ( 60.86)			217,905	12,208 ( 294.60)	1,284,572
前週 (小児科定点当たり人数)		46 ( 13.50)	601 ( 59.21)	1,040 ( 68.20)	262 ( 57.07)	269 ( 71.00)	395 ( 52.43)		2,600 ( 58.29)				

注 ( ) は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第9週					計	前週	全国(8週)	高知県(9週末累計)		
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎				幡多	H28/1/4～H28/3/6	H28/1/4～H28/2/28
インフルエンザ	インフルエンザ		22.75	48.45	53.00	56.80	43.25	55.38	49.42	46.81	36.12	178.27	187.58
小児科	咽頭結核熱			0.29					0.07	0.07	0.32	0.73	3.14
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2.00	4.45	1.67	0.50	3.40	2.87	2.97	3.21	24.03	24.36
	感染性胃腸炎		2.00	8.43	5.91	4.00	7.50	5.00	6.00	5.57	6.31	65.13	58.63
	水痘			0.14		0.67	1.00		0.17	0.20	0.34	2.30	3.71
	手足口病									0.03	0.02	0.23	0.30
	伝染性紅斑		1.00	0.14	0.18	0.33			0.20	0.27	0.46	1.97	5.18
	突発性発疹			0.29	0.27	0.67		0.60	0.33	0.20	0.34	2.70	3.09
	百日咳				0.18				0.07	0.13	0.01	0.53	0.10
	ヘルパンギーナ										0.01	0.07	0.11
	流行性耳下腺炎			0.14	1.00		1.50	0.20	0.53	0.47	0.80	5.47	6.74
RSウイルス感染症		0.50	1.29	1.55	1.00		1.20	1.20	1.57	0.33	13.17	4.83	
眼科	急性出血性結膜炎										0.01		0.08
	流行性角結膜炎								0.33	0.57	1.00	5.61	
基幹	細菌性髄膜炎										0.01		0.13
	無菌性髄膜炎										0.03	0.25	0.27
	マイコプラズマ肺炎			1.00					0.13	0.75	0.48	5.88	4.88
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				0.20				0.13	0.25	0.03	2.13	0.16
	感染性胃腸炎			2.00	2.20				1.63	1.63	0.45	11.50	2.50
計 (小児科定点当たり人数)		26.25	61.17	66.54	65.14	53.75	65.78	60.86			294.60		
前週 (小児科定点当たり人数)		13.50	59.21	68.20	57.07	71.00	52.43		58.29				

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869